



『日本大判写真展』2019 神戸本展 会場風景（「原田の森ギャラリー」（兵庫県立美術館／王子分館））

『日本大判写真展』2019 報告

写真展実行委員 酒井 健一

『日本大判写真展』2019は3月26日午後より神戸会場 原田の森ギャラリーで開催されました。去年に引き続き京都市立美術館改修工事の為、2年続けて神戸での開催です。26日午前中搬入にもかかわらず数名の方々待ちきれず来場され、関心の高さに嬉しくも有りました。午後より展示された写真展に初日から平日にも関わらず沢山の方々が見に来られました。会場では当番の方々それぞれ観賞者の皆様に説明対応に追われながら至福の時味わったことではないでしょうか。

会期中何とか天気にも恵まれ1,600名を超える来場者が有りました。又、神戸展開催中、

当番者各位におかれましてはご協力を受け賜り、無事に神戸展の開催を終えることが出来ました。これも会員各位のご協力の賜物とこの場を借りて厚くお礼申し上げます。又、今回は名古屋展運営体制が整わず残念ながら中止となりましたことをご了承願います。

展示作品につきましては前年度と同じく神戸展終了後に展示担当のマルイ美術様より順次着払いにて発送致します。なお発送時に受け取り頂けず発送元のマルイ美術に返送された場合、再発送せず作品は廃棄処分となりますので各位不在時の作品受取について充分注意してください。

『日本大判写真展』2019 データ

事務局 高田 幸二

【出展作品数】

1. 会員展	全倍	二全倍	四全倍	合計	
自由作品	12点	7点	9点	28点	
課題作品	6点	1点	2点	9点	
2. 会友展	全倍	二全倍	四全倍	合計	
自由作品	11点	==	2点	13点	
課題作品	8点	==	0点	8点	
3. モノクロ	全紙	大全紙		合計	
会員作品	2点	5点		8点	
公募作品	4点	==		4点	
4. デジタル	全紙	全倍	四全倍	合計	
会員作品	1点	3点	1点	5点	
公募作品	5点	==	==	5点	
総計	全紙	大全紙	全倍	二全倍	四全倍
79点	12点	5点	40点	8点	14点

【入場者数】

初日 2日目 3日目 4日目 5日目 最終日
 272名 302名 220名 244名 320名 250名
 総合計：1,608名

※初日は午後13時から、最終日は15時まで

【アンケート結果】

回収件数：58件

質問1 写真展を何で知ったか？

- ・主催者から入場券を郵送 : 32
- ・知人からの紹介や入場家を貰った : 18
- ・カメラ店の店頭で入場券を入手 : 1
- ・新聞等の記事で : 1

質問2 写真展を持た感想は？

- ・素晴らしい : 45
- ・良くない : 2
- ・どちらともいえない : 1
- ・来年も見に来たい : 26
- ・もう見に来ない : 1

質問3 展示方法について

- ・作品が多すぎる : 0
- ・多いが全部観た : 24
- ・多すぎて一部見れなかった : 0
- ・この位でも良い : 28

質問4 会場の雰囲気等について

- ・展示方法が良く見やすかった : 51

・展示方法が悪く見にくかった : 4

質問5 お使いのカメラについて

- ・カメラ(写真)はやっていない : 5
- ・デジタルカメラだけを使っている : 28
- ・フィルムカメラだけを使っている : 5
- ・デジタル・フィルムの両方使ってる : 21

質問6 大判カメラについて

- ・大判カメラを使っている : 8
- ・大判カメラは使ったことがない : 32
- ・大判カメラを使って撮ってみたい : 4
- ・大判カメラに興味が無い : 4

※質問5の結果から推定すると、**大判写真展来場者は何らかの形でフィルムを使っている方の割合が高いことが分かりました。**

※その他に、アンケート記載の意見として、**展示作品のピントが甘いとの指摘**がありました、これは（原板フィルムのピントは出ていることから）デジタル化の工程上の問題とも考えられます。次回の作品制作にも関係するので作品制作担当の堀内カラー担当者と話し合いを行う予定です。

5月研究会のお知らせ

研究会担当 松本憲治

5月研究会を、下記の通り開催します。

日時：5月18日(土) 13:30~17:00

場所：大阪写真会館 4階会議室

内容：

1. 打合せ・連絡事項
2. 2020展出展作品の選定・講評

【2020展出展作品審査会について】

4月研究会より2020展出展作品の審査を開始しました。4月出展作品審査会では、以下の作品が出展審査を完了致しました。

伊藤 新一：カラー自由1点

加藤 利弘：モノクロ 2点

酒井 健一：カラー自由2点

松本 憲治：モノクロ 1点

安川 悟：カラー自由4点

カラー課題1点

2020展の出展作品審査は、京都本展の開催日が2020年1月14日の開始となるため、例年に比べ『3ヶ月前倒しの日程』で行います。

出展作品審査会は、4月(終了)、5月、7月、8月の計4回(残り3回)の開催となります。9月研究会では『最終出展作品確認会』を開催し、8月までに出品作品の審査を完了された方を対象に、作品の追加・差替の審査と、最終出展作品の確認を行います。

出展作品の審査受付に関しては、例年通り、研究会担当者宛に1) 研究会開催日の1週間前までに必着で原板フィルムを郵送するか、2) 研究会前日必着でフィルムをデジタル化したデータをUSBメモリー、SDカード、CD-ROM塔にコピーして郵送か当日研究会会場へ持参の何れかの方法で、各回5点までの作品を提出して下さい。

遠隔地在住の会員は、作品提出時に各自の出展第1希望作品があれば併せてご連絡下さい。できるだけ希望に沿って審査致します。

【暗室研究会例会のお知らせ】

5月例会を以下の日程にて開催致しますので、メンバー各位の参加をお願い致します。

日時：5月12日(日) 13:00~15:00

場所：神戸「B&W Lab.」暗室内

内容：

1. 新しい暗室技術情報の交換
・ You Tube動画と資料の紹介
2. モノクロフィルム、印画紙等に関する情報交換

※当日の暗室作業は、午前9時から12時までの3時間を予定します。暗室でのプリント作業をご希望の方は、必ず午前中に来場の上、作業を完了下さい。

※午後1時から、暗室内にて暗室関連の動画上映等を行う予定です。

※※ 重要なお知らせ ※※ 令和元年度年会費振込のお願い

本部会計 橋本雅由

本年度は年会費の改定の予定はございません。つきましては令和元年度年会費18,000円を、振込期限の5月31日(金)までに下記の

「ゆうちょ銀行」宛にお振り込みを戴きます様お願い申し上げます。

【ゆうちょ銀行からの振込】

振込先：ゆうちょ銀行

記号：14440 番号：43090361

口座名義：ニホンオオバンシャシンカキョウカイ

【ゆうちょ銀行以外からの振込の場合】

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：四四八 (ヨンヨンハチ)

普通口座：4309036

口座名義：ニホンオオバンシャシンカキョウカイ

※「モノクロ部会」にも継続在籍される方は

・モノクロ部会年会費：3,000円

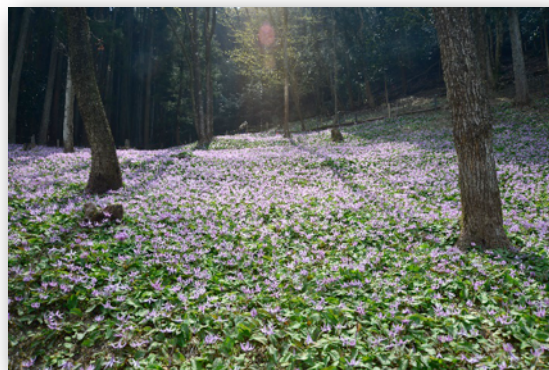
を合わせて合計21,000円のお振り込みをお願い申し上げます。

※5月末年会費振込確認を以て「令和元年度協会会員名簿」を作成の上、対象会員宛に6月開催予定の定期総会の議案書と議決・委任状ハガキを送付致します。ついては、振込期限を厳守戴きます様、お願い致します。

清住のカタクリ群生撮影会の報告

会員 前田 宗彦

4月6日(土) 夙川堤のサクラは真っ盛りである。春を感じ、花を感じ、幻想的な静かな時間に浸り、季節を楽しむ。それをもっともっと深く楽しむ為に、大判の撮影にやって来ました。当日の参加者は、関西から4名、名古屋から1名の合計5名でした。



清住のカタクリ

ここ氷上町の清住は古くから、カタクリを育てている有名な所です。カタクリの根は地中深く眠っていますが水温が適当であれば早春に開花します。美しい淡紅色の六弁花を下向きにやさしく、可愛く開いています。我々が到着した頃から花弁が上向きに反り返って迎えてくれました。眺めているうちに写欲が湧きます、他のグループの方も静かに撮影に忙しくしています。そのうち我々の仲間も集中に疲れ、麓に集まって来ました。その近くで昼食を終えました。



撮影風景

次は、八分咲の桜です。加古川の上流は堤防沿いに桜の並木が長く長く続いている壮大な風景です、撮影に頑張りました。この長い素晴らしい並木を撮影し満足感を抱いたので解散し、帰路につきました。



カタクリ群生地にて集合写真



加古川堤防沿いの桜

春の桜とカタクリ、誠に凄い凄い一日でありました。この満開の花の撮影会を企画してくれた撮影会幹事に深謝申し上げます。

※※ 特別寄稿記事 ※※

大判カメラで半水面写真を撮る

神戸市在住会員 橋本 雅由

夏に向けて如何でしょうか？

一般的に水中写真と言えば、『サンゴ礁に群がる色とりどりの魚を撮った写真』が思い浮かびます。これには水中撮影専用の機材を準備して、そしてダイビングの技術を必要とします。従って、様々な水中撮影機材が市販されている小型カメラの独壇場と考えられます。

しかし、我々大判协会会员も陸上だけでなく水中にも進出できないかと思うのですが、先ず市販の大判カメラ用水中撮影機材は見当たりません。もしも特注品として製作してもらおうとするなら、とてつもなく高価な代物になると思います。

さて、水中写真の範疇に『半水面写真』と言われるジャンルがあります。一枚の風景写真の上部に一般的な自然景観を入れ、下部に水面下の情景を写し込んだ写真のことです。例えば滝を見上げながら下部に川底の様子を写し込んだり、水面を画面の真ん中に持って来て、水面下に水中の草や石やあわよくぼ小魚を、空中には木立や山などを取り入れた風景写真など、一風変わった作品となるでしょう。綺麗な湧き水で有名な柿田川、梅花藻の田君川等々絵になりそう……。

そこで、大・中判カメラで『半水面写真』を撮るには如何すれば良いかと言いますと、至極簡単な装置でそれが可能となります。その発想は『海女さんの箱眼鏡』と『レフレックスカメラ』です。装置と云っても、そこいらのホームセンターへ行って材料一式揃えて五千円でおつりが来る程度です。

以下に現物写真を添付します。極単純な装置なので製作手順の説明は省略します。

【材料費】

1. 観賞魚用水槽： 1,600円
2. 1×2、1×3材： 800円
3. モルタル： 500円
4. アングル材： 500円
5. 鏡(100均)： 108円
6. 木ねじ、ベニヤ板： 若干円



自宅の濁った小さな池をコンデジでテスト撮影。ハーフNDが要りますね。けどもうチョット綺麗な水でなきゃーね!!



(参考写真 出典：<https://twitter.com/kosado>)



(参考写真 出典：<http://southsea.seesaa.net/tag/%94%BC%90%85%96%CA>)

【装置の写真】



重石としてモルタルを入れる。充填量により浮力を調整。傾斜角45°



鏡をセットして天板を被せる。小型カメラであれば天板の穴から覗いてこのままで撮影できる。天部からの入射光が鏡と前面ガラスによる乱反射を起こすので遮光天板は必要。水面の位置は三脚で調整する。



ツーバイ材で枠を作り大判カメラをセットする。天板の穴の寸法はケラレに留意する。



大判カメラ体験教室の案内

撮影会担当 末永 宏

下記日程で、大判カメラ体験教室を開催します。大判カメラの操作の実技指導を中心に行いますので、興味のある方は奮ってご参加下さい。

場所：大阪市 中之島 中央公会堂周辺

日時：2019年5月25日(土) 午後1時集合

集合場所：中之島 大阪市役所正面ホール前

撮影予定：午後1時15分頃から午後3時頃まで

詳細は同封の体験教室の案内を参照の上、参加希望の方は、同封の参加申込みハガキに必要事項を記入の上、**5月18日までに投函**して下さい。



新会員の紹介

事務局 高田 幸二

4月24日、事務局に下記の新会員の入会申込書が届きましたのでご案内致します。

氏名：仲山 荘志 (なかやま そうし)

年齢：31歳

住所：大阪市平野区在住

使用カメラ：主に中判カメラを使用

Fuji GW690 III、Mamiya RB67

大判カメラにも興味があるとのことで、早速、5月25日(土)開催予定の「大判カメラ体験撮影会」の案内を送付しておきます。

鏡はもう少し大きくて、出来れば表面鏡が良いけれど、チョットお高いので・・・いずれ



予算外の胴付長靴。水に浸かる事になりそうなので……。 Netで3,980円也

2020展開催概要について

展覧会実行委員長 田中 明

2020展の開催に向けて、4月研究会より出展作品の審査を開始しました。作品審査は6月の総会を除き4月～8月の4回の研究会で行います。出展が決まった作品のデータシートと原版的フィルムの提出先は「事務局 高田 幸二」宛となります。お間違いなくお願い致します。

1)日本大判写真展 2020 京都展

展示会場 京都市美術館 別館1階

搬入日 2020年1月13日(月)

会期 2020年1月14日(火)

～1月19日(日)

搬出日 2020年1月20日(月)

2) 『日本大判写真展』2020会員展 応募要項

■ 募集内容

1. 大・中判カラー作品の部

銀塩フィルム(大・中判カメラ)で撮影したものに限りです。

①自由作品：テーマは「美しい自然景観を捉えたカラー作品」

②課題作品：テーマ「花のある風景」

2. 35mm判カラー作品の部

銀塩フィルム(35mm判カメラ)で撮影したものに限りです。

③自由作品：自然景観に限定しません。都市風景、ポートレート等の美しいカラー作品。

④課題作品：テーマ「花のある風景」

3. モノクロ作品の部

銀塩フィルム(大・中判・35mm判カメラ)で撮影したものに限りです。

⑤作品は、自然景観に限定しません。スナップ、ポートレートなどのモノクロ作品も出展可となります。

①②③④⑤とも重複応募可。

■ 展示内容

①②：全倍プリント(600×900mm)銀塩印画紙出力。B1木製パネルに額装展示。

③④：半切銀塩印画紙出力。

全紙木製パネルに額装して展示。

⑤：モノクロ全紙銀塩プリントを大全紙木製パネルに額装展示。

※(35mmカメラ)はモノクロ半切銀塩プリントを全紙木製パネルに額装して展示。

■ 応募作品

①②：各作品ごとフィルムを透明なネガ袋に入れ、部門と題名と氏名を明記して裏面に添付。

③④：それぞれ六切りプリントを5点以内。
各作品ごとに、部門と題名と氏名を明記して裏面に添付。

■ 送付先

〒661-0012兵庫県尼崎市南塚口町2丁目23-32

事務局 高田幸二

TEL&FAX 06-6428-2953

携帯 090-8571-6913

E-mail: hdb15401@hcc.bai.ne.jp

■ 展示作品製作費

・①②のカラー全倍作品を出展の場合：

全倍カラー作品制作費：38,000円

・③④の半切プリントを出展の場合：

各自でプリント(インクジェットは不可)の上、事務局へ提出して下さい。額装は当協会で行います。

全紙木製パネル額装費：8,000円

・⑤⑥のモノクロ作品を出展の場合：

各自でプリント(インクジェットは不可)制作の上、事務局へ提出して下さい。額装は当協会で行います。

大全紙木製パネル額装費：9,000円

全紙木製パネル額装費：8,000円

※作品を送付する際には、プリントを厚紙等で挟み、折り目がつかぬように梱包の上、11月9日(当日消印有効)までに発送して下さい。

■ 出展料

・①②⑤⑥の全倍並びに全紙出展の場合は、
一点目：10,000円 二点目以降：5,000円

・③④の半切で出展の場合は、
一点目：5,000円 二点目以降：2,500円

■ 展示作品の返却

展示終了後、美術梱包の上、運賃着払いで返却します。

■ 大判・35mm・モノクロ審査最終締切

2019年9月13日(金)

注：2020展は1月中旬開催前倒しの為会員、公募作品決定は非常にタイトになります。各位注意してください。

3) 搬入、搬出、飾り付け、作品保管などはマルイ美術より協会出展者全員による作業に変更の予定です。

※開催経費のコストダウンの為、今後検討要します。